

墨田区名産江戸東京野菜

“寺島なす”の復活

&

「たもんじ交流農園」

NPO法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会



寺島なす



# 江戸・東京の農業 <sup>てら</sup>寺 <sup>じま</sup>島 ナス

かつて、白鬚神社の周辺は寺島村といました。元禄郷帳（1688～1704）によれば、この地域一帯は、水田を主とする近郊農村でしたが、隅田川上流から運ばれてきた肥沃な土はナス作りにも適し、ナスの産地として、その名も「寺島ナス」と呼ばれていました。

享保20年（1735）の「続江戸砂子温故名跡志」には、「寺島茄子 西葛西の内也。中の郷の先、江戸より一里余」とあり、「夏秋の中の嘉蔬とす。」また、文政11年（1828）の「新編武蔵風土記稿」には、茄子として、「東西葛西領中にて作るもの」として「形は小なれどもわせなすと呼び賞美す」と江戸近郊の名産であることが記されています。農家は収穫したナスを船を使って、千住や、本所四ツ目、神田の土物店（<sup>つちものだな</sup>青物市場）等に出荷していました。江戸時代、悠々と流れる隅田川の東岸。田園地帯であった寺島に、後世に伝えるに値するナスの銘品があったのです。

平成9年度JA東京グループ  
農業協同組合法施行五十周年記念事業

## THE AGRICULTURE OF EDO & TOKYO Terajima Nasu (Egg plant)

Terajima village around this Shirahige Shrine was paddy rice areas in the years 1688-1704. Fertile soil carried over from the upstream of Sumida River was also ideal for the egg plant which was popular as 'Terajima Nasu'. Farmers shipped their products by boats to the markets of Senju, Honjo-Yotsume and Kanda, etc.

白鬚神社に設置された  
「寺島なす」に関する一枚の解説パネル

# 地元小学校で 「寺島なす」復活！

第一寺島小学校

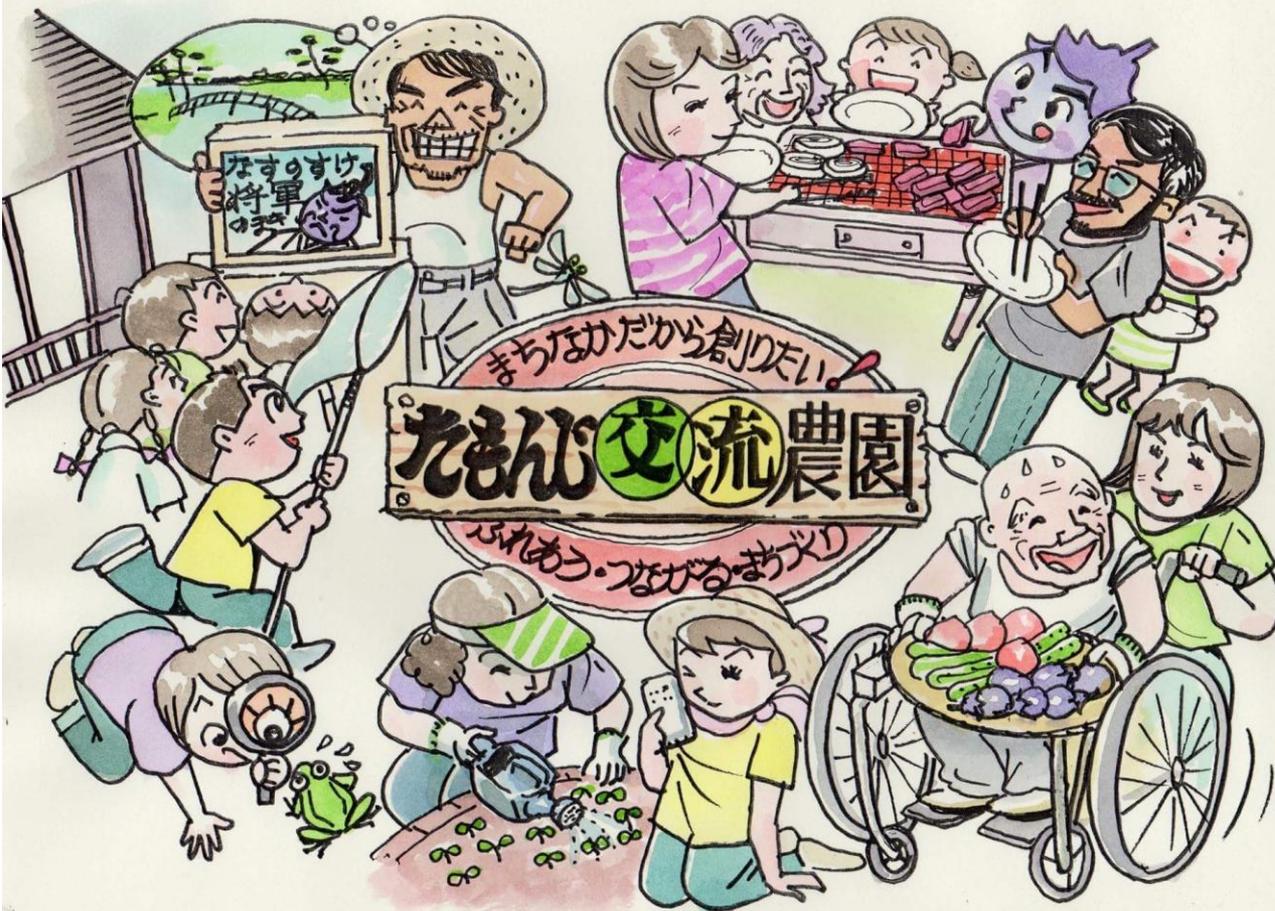


「寺島なす 苗植え出前事業」：これまでの第二、第三寺島小学校に加え、今年も、錦糸中学校、朝鮮第五初中級学校、また、ノウド曳舟さんとのコラボWS など、**寺島なす**の輪が広がっています。



墨田区名産  
“寺島なす”

地元すみだで  
復活/栽培  
したい！



緑の少ない墨田区に、「子供さんからお年寄りまで誰もが、土いじり・野菜作りを通して、緑を楽しみ、生物と身近に触れることのできる体験型緑地帯」である「まちなか農園」を手作りで作りました！  
それが、“**たもんじ交流農園**”なのです！

# 2017年当時(駐車場跡地)





2017年～2018年  
雑草を抜いて  
土を掘って

2017年～2018年  
ダンプで土を運  
んで、耕作地の  
枠を作ります



2019年 ウッドデッキ広場を組み立て、芝生を張って、ビオトープも作りました！





# “たもんじ交流農園”



# “たもんじ交流農園”イベントも、大盛況！



「じゃが芋掘り」「夏の収穫祭（寺島なす）」「秋の収穫祭（落花生）」などなど。子供たちの笑顔がはじけます！  
種を植えて、野菜を育てて、収穫します。まさに、食育です！



# たもんじ交流農園の畑

## 「寺島なす」

元気に  
育っています！



(2023年8月)



(2024年7月)





**「寺島なす」  
収穫祭**



●てらたま「寺島なす」供給実績&計画 (単位:個)

	たもんじ産	農家/仲買人さん	合計
2024年実績	1,564	2,124	3,688

たもN4000  
大增産計画

2025年計画	4,000	1,000	5,000
---------	-------	-------	-------



たもんじ産”寺島なす” 収穫 & 供給実績 2025

(単位:個)

		たもんじ交流農園 プランター&農園会員畑	たもんじ交流農園 共用耕作地	駅前プランター	合計
6月 (26日~)	収穫	126	39	40	205
	供給	93	47	40	180
7月	収穫	1269	238	141	1648
	供給	1165	227	141	1533
8月	収穫	1103	175	81	1359
	供給	1164	178	81	1423
9月	収穫	527	81	173	781
	供給	575	81	173	829
10月 (10日現在)	収穫	173	3	96	272
	供給	84	3	96	183
総計	収穫	3198	536	531	4265
	供給	3081	536	531	4148

たもんじ産  
“寺島なす”  
大增産計画  
「たもN4000」  
達成!



飲食店/菓子店さんへの供給、イベント用や見学者へのお土産等、不足したり余ったりすることなく、バランスよく供給できました!

2024年  
10月13日(日) ほたるのすみかで “稲刈り”



## ～“たもんじ交流農園”が私達に感じさせてくれました～

●農園という場を通して、人がつながり、地域がつながり、身体だけでなく、精神的健康をもたらしてくれました。

お子さんに土いじり・野菜作りを体験させたいと、園内の耕作地の空き地を待っている方々も多く、本当に沢山の方が、このような場を求められていることを実感しています。

## ～だから、農的空間をもっとまちなかに～

●墨田区では緑地も少なく当然農地もありません。暮らしの近くに農体験ができる場をもっと増やし、自然を感じ、その自然の中で遊べる。

まるで“里山のような空間”を墨田区全域に広げていければどんなに素敵なことでしょう！ そんな想いが強くなり、墨田区全体を里山のようにしていきたい！ そんなプロジェクトを始めました！

# すみだを、里山にしていこうプロジェクト

## 『すみ里プロジェクト』

平地の下町にこそ、緑と農を通し自然の感じる空間にしていこう  
～農的空間・自然環境の体験を通した地域連携を目指します

- a. たもんじ交流農園のような“まちなか農園”
  - b. 公園の一區画に、お花のほかに“野菜”も
  - c. 軒先や店舗の前にプランターを連ねる
  - d. 企業や学校・団地の敷地内の空いたスペースや屋上を使った畑
  - e. 道沿いの緑地帯に“エディブルウェイ”食べられるみち
  - f. 建物が立てにくい空き地を使った菜園
- などです。できることから徐々にはじめています！



そしてやがては、

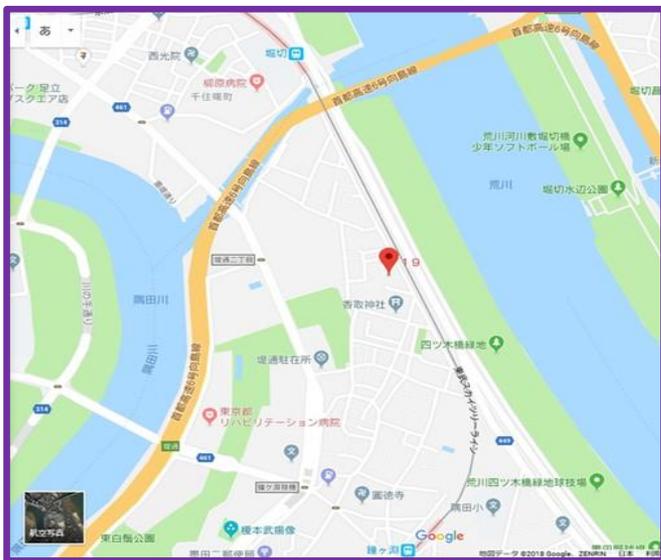
下町のすみだに、自然豊かな里山的な空間を



農園の場所

## “たもんじ交流農園”

(住所：墨田区墨田5-30-19)



東武スカイツリーラインの堀切駅、もしくは鐘ヶ淵駅から徒歩10~15分のところにあります。

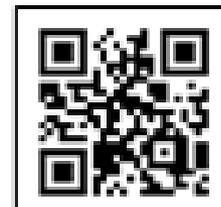
(“GoogleMap”にも載ってます。)

すみだに、自然豊かな里山的な空間を増やしたい!

「すみ里プロジェクト」

引き続きのご支援、よろしく  
お願いいたします。

「てらたまホームページ」  
URL : <https://teratama.tokyo>



ホームページ